



1. 原子力機構報告会で ITER 調達の進捗を報告

10月13日に、有楽町朝日ホールにおいて第5回原子力機構報告会を開催しました。この中で二宮博正・核融合研究開発部門長による「ワールドフュージョンコラボ～夢のエネルギー実現への挑戦～」と題した講演を行い、産業界を中心とした約700人の大観衆を前に、実際の映像を多用した ITER 調達の進捗状況を含め、全世界的な協力で行われている核融合エネルギー実現に向けた挑戦の現状についてわかりやすく紹介しました。

原子力機構報告会（核融合部分）についての詳細は、以下のページをご覧ください。

<http://www.naka.jaea.go.jp/>

2. ITER 建設サイトでの建設活動が本格スタート

2010年8月から ITER 建設サイトでの建設活動が本格的にスタートしました。8月4日にトカマク複合建屋ピットの掘削作業（掘削予定総体積23万立方メートル）が開始されました。またその他の建屋工事もスタートし、ブルドーザーによる PF（ポロイダル磁場コイル）建屋の敷地レベリング作業（対象面積14,000平方メートル）が行われました。

9月に入ると建設工事活動はさらに進展し、9月第4週には PF 建屋東側よりコンクリートの打設が開始され、将

来の ITER 機構本部ビル（アネックスビルディング）の基礎工事においてもコンクリート打設が開始されました。

ITER 機構は、トカマク複合建屋ピットの掘削は第一段階をほぼ終了したと、10月上旬に発表しました。

（日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門）



図3 2010年8月 ブルドーザーによる PF 建屋レベリング作業（ITER 機構提供）。



図4 2010年9月 アネックスビルディング基礎工事（ITER 機構提供）。



図1 原子力機構報告会での報告・講演を行う二宮核融合研究開発部門長。



図2 2010年8月 トカマク複合建屋ピットの掘削工事開始（ITER 機構提供）。



図5 2010年10月 ITER 建設サイトを望む。手前から PF 建屋、トカマク複合建屋ピット（中央右手）、アネックスビルディング（奥のクレーン2基）の各作業現場。